

2024年3月8日

公益社団法人 消費者関連専門家会議（ACAP）の「消費者志向活動章」を受賞

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、公益社団法人 消費者関連専門家会議（以下、ACAP）の「ACAP消費者志向活動表彰『消費者志向活動章』」を受賞しました。

ACAPでは、2015年に「ACAP消費者志向活動表彰」制度を創設し、企業や団体、個人が行なう活動のうち、消費者志向経営の推進、またはこれを支援する観点から、称賛に値するものを「消費者志向活動章」として表彰しています。

このたびは、当社の「サウンドアーチ 一声の架け橋」（以下、「サウンドアーチ」）の取組みが評価され受賞いたしました。なお、当社では、本表彰制度が創設された2015年度および2022年度に続き、3度目の受賞となります。

当社は、今後も「人に一番やさしい生命保険会社」をめざし、お客さまの最善の利益が図られるよう、「お客さま志向の業務運営」に積極的に取り組んでいきます。

1. 「サウンドアーチ」の概要

- ・「サウンドアーチ」は、当社のシニア職員が発案し、製品化された電話音声明瞭器です。製品名称には、発案者の「聴こえに悩みを持っている方の“声の架け橋”となり、豊かな生活をサポートしたい」との想いが込められています。
- ・当社コミュニケーションセンターのご高齢のお客さま専用お問い合わせ窓口等に、「サウンドアーチ」を約100台設置し、聴こえに悩むお客さまにいっそう寄り添った電話対応を実践しています。また、聴こえに悩む方の社会的孤立という社会課題の解決に貢献するため、地域社会との絆を紡ぐ取組みとして、当社と連携協定を締結している全国の地方自治体に、順次、寄贈しています。

※「サウンドアーチ」の詳細は、当社ホームページ参照

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2022/pdf/20230317_01.pdf

2. 受賞理由

- ・当社の取組みに対して、ACAPから以下のとおり評価をいただいています。

従業員の発案からの機器開発、コールセンターに機器を設置し「聴こえ」について話し手側で改善に取り組んだ点など独自性が高い。高齢化が進み「聴こえ」に悩みを持つ消費者の増加が想定される中、機器の寄贈を通して自治体と協働で課題に取り組む姿勢も素晴らしい。

以上

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

